

市民が望む教育と 学校環境のアンケート結果

※保護者521名 上位回答抜粋

児童生徒の保護者や市民の意見を「上山のみらいの学校構想」策定に活かすために、令和7年2月にアンケートを実施した結果、次のような声が寄せられました。

魅力ある学校に必要な教育内容は？

※検討委員会の検討状況や今後のスケジュールは市ホームページをご覧ください▶



たくさんの人と関わりを持つことで、思いやりや自立心が育つ環境を望みます

※1
複式学級解消や専門教科の担任を配置して指導体制を整え、学習意欲を高めてほしいです



教育の質や社会性を高めるには、集団活動ができる一定の児童生徒数が必要だと思います

ICT教育や英語教育を充実させ、世界に視野を持ち、異文化を理解する力をつけてもらいたいです



人口減少が進む中、地域ぐるみで子どもの成長を支える環境整備が大切だと思います

自ら考え行動できる力がつくよう、多様な考えに触れ柔軟な思考力を育んでほしいです



すべての子どもの可能性が引き出されるような、きめ細やかな支援を受けたいです

自己肯定感や協調性を育み、興味・個性を尊重して主体的に集団活動に参加させてほしいです



時代に対応した教育環境に必要な整備とは？



施設の老朽化対策やバリアフリー化・防災・防犯対策を強化した学校が必要だと思います

ICT機器とAIなどを活用した教育を充実させ、デジタル社会に対応できる環境を作ってほしいです



子どもの特性に応じた個別学習と協働学習のバランスの取れた環境を整備してほしいです

財源を確保し、無駄がないように人口規模に見合う学校運営と施設整備を進めてもらいたいです



※1 〈複式学級〉：児童数が少なく1学年で学級を編制できない場合、2つ以上の学年で構成される学級のこと。一方が先生から指導を受ける間、もう一方は課題学習などに取り組む。

特集

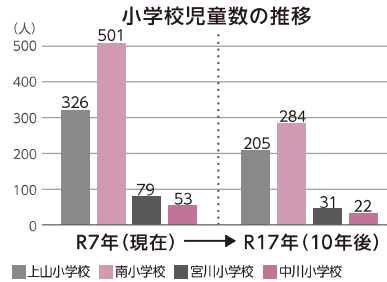
上山のみらいの 教育・学校を考えよう！

子どもたちにとって魅力のある学校づくりや時代にふさわしい教育環境を実現することを目的に、保護者代表や学識経験者などで組織する「上山のみらいの学校構想検討委員会」では上山のよりよい教育について検討を進めています。

本特集では、「みらいの学校づくりに関するアンケート」の結果を紹介するとともに、検討委員会の検討内容をお知らせします。

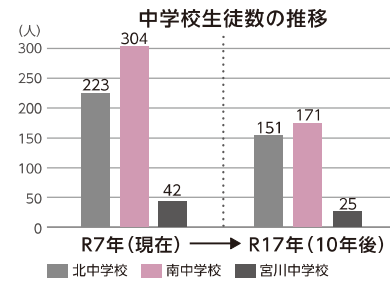
10年後の児童生徒数は最大約6割減少する見込み

※令和7～17年までの児童生徒数、学級数の推移。学級数は小学校は6学年合計、中学校は3学年合計。



【10年後の児童数】

・各校ともに約4～6割減少



【10年後の生徒数】

・各校ともに約4～5割減少

10年後の学級数も最大半分以上に減少し、複式学級が増加する見込み

上山小学校 … 半分以上に減少(各学年1学級)
【令和7年】13学級 → 【令和17年】6学級

南小学校 … 約7割に減少(各学年2学級)
【令和7年】17学級 → 【令和17年】12学級

宮川小学校 … 複式学級2つに
【令和7年】6学級 → 【令和17年】4学級

中川小学校 … 複式学級3つに(完全複式学級)
【令和7年】5学級 → 【令和17年】3学級

北中学校 … 約半分に減少(各学年1～2学級)
【令和7年】9学級 → 【令和17年】5学級

南中学校 … 4割減少(各学年2学級)
【令和7年】10学級 → 【令和17年】6学級

宮川中学校 … 各学年1学級(学級人数減少)
【令和7年】3学級 → 【令和17年】3学級

児童生徒数や学級数の詳細は二次元コードからご覧ください▶



望まれる「1学級25人程度・1つの学年で3学級」、「中学校の教科担任確保」の実現が困難

小・中学校の統廃合に思うこと

回答者の9割が統廃合を望み、統廃合を経験した6割が「良かった」と考えています

●小学校の統合を望む理由

- ・教員人数を確保することで、負担を軽減して教育の質を向上してほしい
- ・統合することで効率的で無駄のない財政運営を行い、学校設備環境を良くしてほしい
- ・複式学級や少ない学級人数による人間関係の固定化を改善してほしい

●中学校の統合を望む理由

- ・進学や就職を見据えた教育の質の向上や社会性の育成が大切で、学級数を維持し教科担任を確保することが必要
- ・中学生特有の人間関係のトラブル時の調整などクラス替えができる規模は必要
- ・全ての中学校が老朽化しており、統合することでICTや防災等の設備を充実させる必要がある

学級数・児童生徒数の減少の認識

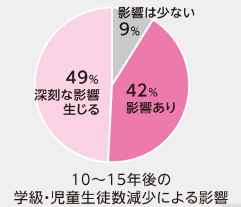
回答者の9割が児童生徒に影響があると考え、課題解決が必要と思っています

対応すべき課題

- ・集団活動や部活動、行事の選択肢が限られ、教育効果の低下が懸念される
- ・集団生活への適応が難しくなり、コミュニケーション能力が育ちにくい
- ・男女比の偏り・クラス替えができないことで人間関係が固定化される

解決策

- ・学校統廃合を見据えながら、他の学校との合同学習や交流を進める
- ・集団活動や部活動、行事などで可能なものは、他の学校と合同で行う
- ・少人数指導の充実のため、オンラインなどのICTを活用した学習を進める



1つの学年における望ましい学級数

小・中学校共に3学級との回答が過半数を占めています

理由1 多様な人間関係の確保による社会性などの育成

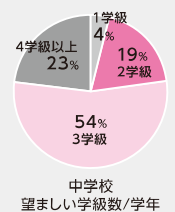
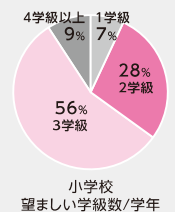
- ・適正な学級規模を整えることで人間関係の固定化回避とトラブル時の調整の役割を果たす
- ・新たな友だち・教職員と出会い、多様な価値観に触れることで社会性の育成が期待できる
- ・中学生は、特に思春期特有の課題やいじめ防止、将来の社会適応のために、多様な人との関わりを持つ環境が重要

理由2 学校生活の質の向上

- ・学校行事などが活発になり、競争意識や切磋琢磨の精神が育ち、学力や運動、文化面の向上が期待できる
- ・集団活動が増え、友人関係が広がり、子どもたちの団結力が向上するなど、多様なニーズに応えやすくなる

理由3 教育の質の向上と教員の確保

- ・中学校で専門教科の教員を配置するには1学年に3学級の設置が必要(※2 教科担任制)
 - ・1つの学年に複数の教員がいることで、指導方法の情報共有や相談しやすい環境が整い教育資源が多様化、効率化され、児童生徒一人ひとりに合わせた指導が実現しやすくなる
- ※2〈教科担任制〉：中学校における「教科担任制」とは、教科ごとに専門の教員が授業を担当する指導形態のこと。全授業で専門教科の教員による学習指導を行うためには、1学年に3学級以上(全体で9学級以上)が必要。

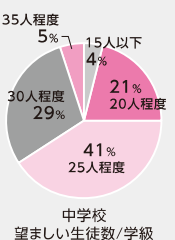
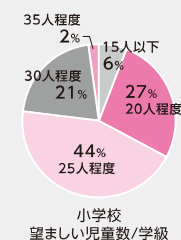


1学級あたりの望ましい児童生徒数

小・中学校共に25人程度が1番多く、20人以上が9割以上を占めています

理由 教育の質の向上と個別支援への対応

- ・教員が子ども一人ひとりに丁寧に対応しやすくなり、個々の学力や心理状態、発達段階を把握して適切な指導が可能となることで学力向上に向けた学習環境が整う



※数値・資料などは市ホームページを参照ください▶



上山市みらいの学校構想 検討委員会での検討状況

(第4回検討委員会時点)

検討委員会での意見

小学校

[1校統合案]

- ・児童生徒数の推移から、最終的な1校統合は明らかである。2校統合案には時間と労力がかかる。
- ・スピード感を持って、統合時期を考えていかなければならない。
- ・小中学校を併設した1校を新設した方が良く、小中一貫教育校を実現してほしい。
- ・現在把握している問題を先送りせず、最初から1校に統合すべき。
- ・小学校2校案では市民の望む「1つの学年で3学級、1学級25人程度」のニーズを満たせない。

[2校→1校統合案]

- ・将来的には1校だろうが、子どもたちが環境に慣れるため段階的に2校統合も良いと思う。
- ・運営コスト削減のため、まず2校統合を進め、その後1校に統合すれば良い。

中学校

- ・教育と学校生活の質の確保、多様な人間関係に基づく社会性の育成のためにも、一定の集団が必要。
- ・中学校は選択肢のある集団活動や教科担任の確保による教育の質の確保のためにも1学年3クラス以上は必要で早急に1校統合を進めるべき。
- ・中学校は建設後約60年が経過し老朽化が著しい。老朽化に伴う修繕費用など費用対効果を考え、早急に統合校の新設を検討するべき。

市民説明会を開催します！上山のみらいの教育・学校にご意見をお願いします！

最新の検討状況やみらいの学校構想(案)を下記日程で説明します。下記二次元コードより申し込みください。

日時	会場
9月30日(火)午後 6時30分～	上山小学校体育館
10月 2日(木)午後 6時30分～	南小学校体育館
10月 5日(日)午前 10時～	上山市役所401・402会議室
10月 7日(火)午後 6時30分～	宮川小学校体育館
10月 9日(木)午後 6時30分～	中川小学校体育館

問 市教育委員会 教育企画課 みらい教育創造係 内線362

どなたでも
参加可能
です！

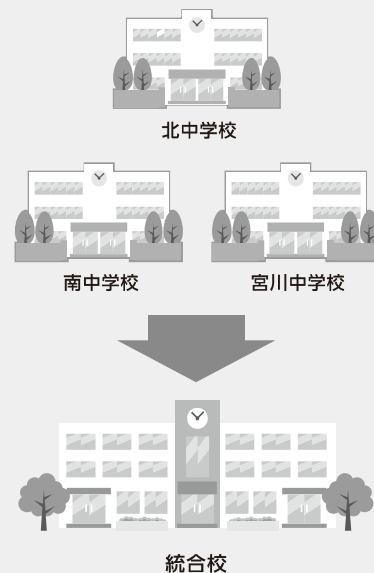


中学校の場合(案)

1校統合案

特徴

- ・設備投資を集中させることで、充実した環境に。
- ・各学年3学級、1学級25人程度が確保できる。

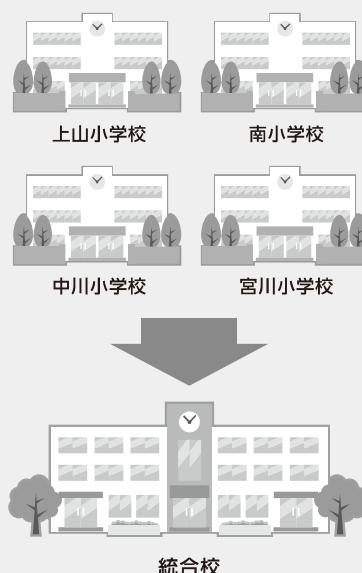


小学校の場合(案)

1校統合案

特徴

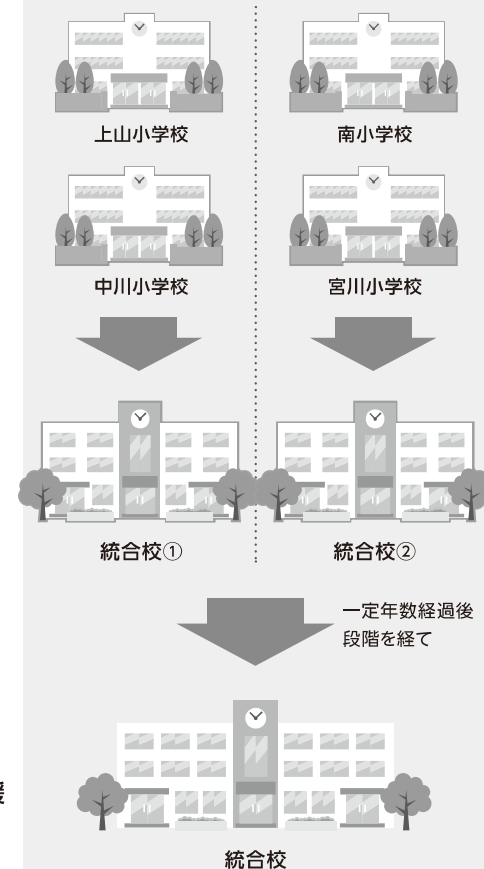
- ・設備投資を集中させることで、充実した環境に。
- ・各学年3学級、1学級25人程度が確保できる。



2校→1校統合案

特徴

- ・一定年数現状のまま既存校舎を利活用する。



小・中学校の統合時に配慮すべきこと

- ・安全・安心な通学経路・通学手段
- ・関係者への周知と合意形成・不安解消
- ・事前交流など小規模校の子どもへの支援
- ・地域学習カリキュラムの充実
- ・教職員の指導体制の確保 など